

## JGR メディア資格区分及び認定ガイド

JGR では、メディアの資格区分を以下のように設定しています。メディア申請に対し、JGR は取材者の業務及び資質・経験に応じて適切な資格区分への認定を行います。

#	種別	メディアセンター以外アクセスできるエリア
1	クレデンシャル メディア	クレデンシャルメディア(大会毎)
		クレデンシャルメディア(通年)
2	タバードメディア	イベントタバードメディア(大会毎)
		イベントタバードメディア(通年)
3		JGR タバードメディア

以下にそれぞれの資格区分の対象、立ち入り可能なエリア、必要とされる経験や資質について説明します。

### 1 対象

#### 1.1 クレデンシャルメディア

メディア申請が受理され、取材が認められたメディアはクレデンシャルメディアとなり、身分証明となりメディアクレデンシャルパス(IDカード)と駐車パスが貸与されます。

クレデンシャルメディア(大会毎)は、大会毎に認定されメディア受付時に上記が渡されます。

クレデンシャルメディア(通年)は、JGR 会員で通年の取材活動を希望するメディアに対して認定され、全戦有効のクレデンシャルパスが貸与されます(駐車パスは大会毎に発行されます)。アクセスできる範囲は、クレデンシャルメディア(大会毎)と変わりません。

ラリー会場で、一般の観客の立ち入りが認められているエリア全域と、有償観戦エリアに対しての立ち入りが認められます。サービスパーク内においては、写真撮影やインタビューのため、各選手に割り当てられた整備エリアに立ち入ることが認められますが、実際の立ち入りに際してはそのチームに許可を得たうえで、作業の支障にならないように細心の注意を払い、チーム員並びにオフィシャルの指示には必ず従ってください。なお、サービスパークには危険が伴い、競技中の整備には時間制限があるために、状況によっては非常にリスクが高くなる場合があります。チームおよび主催者、JGR はいかなる理由であっても、サービスパーク内におけるメディアの負傷や損害に対する一切の責任を負いません。

対象： ライター、編集者、カメラマンなど全メディア

立ち入り可能なエリア： 観客が立ち入り可能なエリア(有料観戦エリア含む)

必要な経験・資質： ラリーに関する一般的な知識

#### 1.2 タバードメディア

タバードメディアは、スペシャルステージにて撮影を行うカメラマン(静止画・動画・ドローン操縦者含む)のための区分です。スペシャルステージへの立ち入りには危険が伴うため、原則としてラリーの取材経験が豊富かつ競技規則およびラリー競技のセーフティーについて熟知しているカメラマンのみが対象であり、ライターや編集者など、ステージ内の撮影に関わらない者は認定の対象外となります。

タバードメディアは2つの区分に細分され、それぞれの認定メディアに対しては身分証明となりメディアクレデンシャルパス(IDカード)と、区分に応じたタバード、スペシャルステージへの進入やスペシャルステージ併設のメディアパーキングの利用を認める駐車パスが貸与されます。

### 1.2.1 イベントタバードメディア

大会毎にタバードが貸与される、SS 内に主催者が設定するメディアポイントに立ち入りが認められるメディアです。SS 内ではメディアポイントからコース内に出ることは認められず、担当オフィシャルの指示に従わなければなりません。

イベントタバードメディア(大会毎)は、大会毎に認定されメディア受付時に上記が渡されます。

イベントタバードメディア(通年)は、JGR 会員で通年の取材活動を希望するメディアに対して認定され、全戦有効のイベントタバードメディアパスが貸与されます(駐車パスおよびタバードは大会毎に貸与されます)。アクセスできる範囲は、イベントタバードメディア(大会毎)と変わりません。

- |             |                                    |
|-------------|------------------------------------|
| 対象:         | ・SS 内で撮影を希望するカメラマン・ドローン操縦者         |
| 立ち入り可能なエリア: | ・クレデンシャルメディアのエリアに加え、SS 内のメディアポイント  |
| 必要な経験・資質:   | ・ラリー競技および競技規則に対する理解<br>・SS 内での撮影経験 |

### 1.2.2 JGR タバードメディア

JGR がその会員の中から、通年で認定するタバードメディアで、SS 内の全域(NO-GO エリアとして明示的に定められた場所、コントロールゾーンなど競技上立ち入りが禁じられている場所および安全上の懸念がある場所や、競技の進行に支障を及ぼすと考えられる場所を除く)に立ち入りが認められるメディアです。専用タバード及びクレデンシャルパスは JGR から年間貸与され、駐車パスは大会毎に発行されます。

00 カーの到着時点までに撮影場所を確定しなければなりません。セーフティーカーはその場所が適切であるかどうかを確認し、問題がある場合には移動を指示します。オフィシャルの指示には必ず従わなければなりません。場所の移動およびステージからの退出はスイーパーカーの通過とオフィシャルの許可が条件となります。

- |             |  |
|-------------|--|
| 対象:         | ・SS 内で撮影を希望するカメラマン・ドローン操縦者<br>(経験及び見識が模範的水準にあると JGR が特別に認めた者に限る)           |
| 立ち入り可能なエリア: | ・SS 内全域(NO-GO エリア、コントロールゾーン等除く)  |
| 必要な経験・資質:   | ・WRC や APRC、全日本ラリー選手権でのメディアポイントに限定しない SS 内での豊富な撮影経験<br>・ラリー競技およびその規則に対する熟知 |

## 2 昇格条件

### 2.1 クレデンシャルメディア

ラリー競技での撮影経験が少ないカメラマンは、クレデンシャルメディアとして認定されます。

クレデンシャルメディアは観戦ポイントからの撮影が可能です。クレデンシャルメディアとしての撮影を通じて、ラリー競技の進行やルールについて理解を深めていただきます。

### 2.2 イベントタバードメディア

(クレデンシャルメディア → 監督者同伴条件付きイベントタバードメディア → イベントタバードメディア)

クレデンシャルメディアとして経験を積んだカメラマンが SS 内での撮影を希望する場合、タバードメディア区分のイベントタバードメディアがその入り口となります。

新たにイベントタバードメディア資格の認定を希望する場合、申請者は、まずメディア登録申請書を提出し、JGR 指定の研修の受講・受験が必要となります。(注: 提供した資料を読んでネットで回答を提出していただきます。)

その上で、JGR の審査にて申請が認められれば、「監督者同伴」の条件付きでのイベントタバードメディ

アとして活動する事が可能となります。

**【監督者同伴条件】**

メディアポイントでは通常の(監督者同伴条件のない)イベントメディアタバード保持者(=「監督者」と完全に行動を共にすることが条件となります。取材活動中は監督者の指示に従わなければなりません。

**【監督者同伴解除条件】**

監督者同伴条件付きでのメディアポイントでの取材を複数回行い、その行動について監督者から問題がないと承認され、JGR の承認を得る事で同条件は解除となります。

### 2.3 JGR タバードメディア

(イベントタバードメディア → 監督者同伴条件付き JGR タバードメディア → JGR タバードメディア)

JGR タバードメディアへの認定は、監督者同伴条件付き認定を経て、通常の JGR タバードメディア認定となります。(過去の取材実績等により JGR が特に認定した場合を除く。)

イベントタバードメディア資格を持つカメラマンおよびドローン操縦者が、監督者同伴条件付き JGR タバードメディアとして認定されるには、以下の条件を満たす必要があります。

前年の全日本ラリー選手権の 8 割以上(小数点以下切り捨て)の大会で、イベントタバードメディアとして参加し、JGR および大会主催者より文章による注意や処分を受けていない者とします。その上で JGR は申請の可否を判断し、申請者に結果を伝達します。

申請が認められたメディアは、「監督者同伴」の条件付きでの JGR タバードメディアに認定されます。

**【監督者同伴条件】**

SS 内では、通常の(監督者同伴条件のない)JGR タバード保持者(=「監督者」と完全に行動を共にすることが条件となります。取材活動中は監督者の指示に従わなければなりません。

監督者は申請者自らが手配しなければなりません。一つの大会で複数の監督者を選定することも可能です。また、SS 内に車両で移動する場合は JGR タバード保持者の車両に同乗する事としなければなりません(別個に車両通行証は与えられません)。

**【監督者同伴条件の解除】**

監督者同伴条件付きでの SS 内取材を 20 戰以上行い、その行動について監督者から問題がないと承認された場合を前提とします。ただし、監督者を務めた JGR タバードメディア 2 名以上による推薦がある場合は、同伴条件付きでの取材戦数を「2 年以内に 14 戰」に短縮することができます。どちらの場合も JGR の承認を得る事で同条件は解除となります。

## 3 認定の取り消し・変更

JGR はいかなる時点でも、認定資格を取り消し、あるいは変更する権利を持っています。これらにつながるケースとして、以下に一部の例を示します。

● 取材活動において問題が見られた場合

➢ 例: 安全上の問題、倫理上の問題、円滑な競技進行に対する問題、プロフェッショナルにふさわしくない行動等

● 取材申請が認められたにも関わらず、事前連絡なく取材を行わなかった場合。

● 公表された取材の成果物の内容や、言動に関して、JGR の理念や目標、モータースポーツの利益などに著しく反するものがあった場合

大会中の資格認定の停止や変更は、大会のメディア担当オフィシャル(大会メディアオフィサーまたは競技長により指定された者)にもその権限があります。

## 4 メディア向け安全講習会の参加

JGR が開催する安全講習会が行われる場合には、JGR タバードメディア及び今後 JGR タバードメディアを目指すメディアは必ず参加しなければなりません。(クレデンシャルメディアは任意参加とします。)

5 その他

ご不明な点や詳細については、JGR 事務局 メディアディスク（Email: media@jgr.jp）にご連絡ください。

2026年1月1日 制定